

「首から上」にある、いくつかのものの総称

頭頸部がんってどんな病気？

01

頭頸部（とうけいぶ）とは、脳と眼を除いた「首から上」の領域のこと。

食べる・話す・呼吸する・においを感じるなど、

暮らしに欠かせない働きが集まっています。

ここにできるがんをまとめて頭頸部がんと呼びます。

頭頸部がんの特徴

- ✓ 部位ごとに症状や進み方が違う
- ✓ 機能（話す・食べる・呼吸・におい）に関わる
- ✓ 早期発見・治療で機能を守る可能性が高まる

この領域に集まる4つの大切な働き



食べる

口・のど



話す

声帯・口



呼吸する

鼻・のど



においを感じる

鼻

主なできる場所

1 鼻・副鼻腔

鼻の中と、
その周りの空洞

2 上咽頭

はなの奥にあたる部分

3 中咽頭

鼻の奥～
のどのつけ根

4 口腔

舌・歯ぐき・
頬の内側・唇

5 下咽頭

食道への入口

6 喉頭

声帯があり、
声をつくる場所

7 甲状腺・唾液腺

首のホルモン腺・
つばを作る腺

※脳と眼は含みません



23,771人

2023年に全国で診断された
「口腔・咽頭がん」の人数

※頭頸部がん全体の人数ではありません。

なぜ「機能を守ること」が大切なの？



食べる

口やのどのがんは、
食事や栄養に影響します。



話す

声帯や舌のがんは、
会話やコミュニケーション
に関わります。



呼吸する

のどや鼻のがんは、
呼吸の通り道に
関わります。



においを感じる

鼻や副鼻腔のがんは、
においを感じる力に
関わります。

1 部位ごとに症状が違う



声がれ、しこり、飲み込みにく
さなど、できた場所によって
現れ方が変わります。

2 機能を守る治療が大切



話す・食べる・呼吸・においの
機能をできるだけ守る治療
（手術・放射線・薬物療法など）
を行います。

3 早く見つけるほど有利



早期発見・早期治療は、
体の負担が少なく、
機能も残しやすい
なります。

気になる症状があれば



迷わず、耳鼻咽喉科・
頭頸部外科へ
ご相談ください。



だから頭頸部がんの治療では、

がんを治すことと暮らしの機能を守ることを一緒に考えます。